

## 「学力向上に係る効果的事例」について

【松伏町教育委員会】

(具体的な取組)

### ◎ 家庭学習の習慣化へ向けて

#### (1) 「家庭学習のすすめ」・・・家庭学習の手引きを全児童に配布

・学年当初の懇談会時に参加保護者に配布し、各担任より丁寧に家庭学習の重要性を啓発し、「家庭学習のすすめ」の説明を実施した。

#### (2) 「家庭学習の時間」の設定

・毎週木曜日の8：15～8：30の15分間を「家庭学習の時間」と称し、担任より、家庭学習の方法や内容について指導をし、実際に取り組んでみる時間に設定した。

#### (3) 家庭学習の実態調査実施

・本校では、家庭学習の目標時間を宿題等を含めて「学年×10分+10分」に、設定している。各学期一度、全児童を対象に意識調査を実施している。設問は、全部で3つである。

①あなたは家庭学習をしていますか。②家庭学習の時間を教えてください。

③家庭学習の内容を教えてください。

結果については、数値化して懇談会や個別面談の際に担任より説明をし、協力を要請している。

#### (4) 家庭学習の確認と評価

・各学年ごとに発達段階に応じた家庭学習の取組が実践されているが、毎朝提出させると共に確認と評価を必ずしている。提出されたノートやカードに朱でコメントを入れて次への意欲付けを行っている。その日のうちに児童に返却し、毎日取り組めるようにした。

### ◎ 成果 (○) と課題 (▲)

○ 家庭学習の必要性や重要性については、繰り返し児童や保護者に指導・啓発を行ってきた。児童の意識調査より、2学期には家庭学習の実施率が98.56%となった。また、内容についても宿題はもちろんテスト前テスト後の学習やふだんの予習や復習等多岐にわたっている。

▲ 今後の課題としては、家庭学習に全く取り組んでいない児童が数名いるので保護者との連携を密にし、少しでも取り組めるようにしていくこと、そして必ずしも学力向上につながっていない児童もいるので更に追跡調査を行い、個に応じた家庭学習の在り方を模索していきたい。